

# 厳しい時だからこそ雇用の維持を

日立AP清水事業所  
と関連会社で働く  
人のネットワーク



2009年6月  
No. 20  
発行：オアシス  
編集委員会  
連絡先：多田義幸  
TEL  
090-9121-0602

## 振替休日の実施

### Ⅱ 生産減対策

五月および六月における生産計画の見直しにより、3日の休日が振替になりました。

生産減に伴う措置ではありませんが、このような厳しい時こそ、派遣社員などの雇用の維持が必要です。

## 増加する雇い止め 低下する求人倍率

静岡労働局が5月1日に発表した静岡県内の雇い止め状況が、123事業所で8,515人となりました。右図のように08/12月から09/03月に飛躍的に増加しています。雇い止めの6割程度が派遣社員となっています。

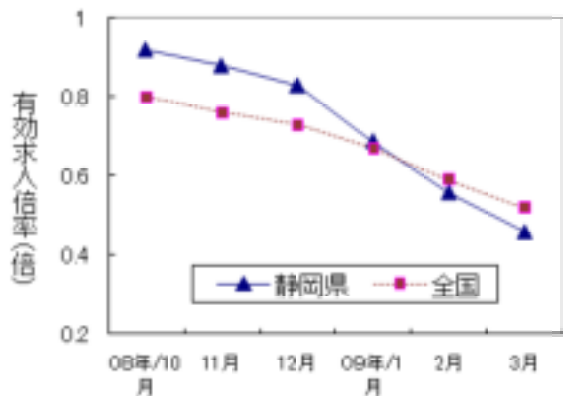
また左図のように、静岡県の有効求人倍率も同期間に急速に低下し、失業した場合には再就職できない状況が広がっています。このような状況で企業は、雇用を守る社会的責任を果たすべきです。

## 多忙な部署への対応は？

生産減にもかかわらず、設計や開発の職場では、長時間労働が続いています。そして、業務遅れ挽回などのため、土曜出勤、平日残業の増加、サービス残業などに対応をしています。

多忙な職場の業務計画の見直し、人員配置の適正化を実施し、雇用維持を前提に、労働時間の削減に取り組む必要があります。

静岡県の有効求人倍率



静岡県の雇い止め人数

